

# 平成24年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立名草小学校
作成日	平成25年2月22日

## 1 教育目標

<p>・子供にとっても分かりやすく、日頃から誰もが口にできる表現も検討してはどうか。</p>
--

## 2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<p>1 学校の情報提供</p> <p>2 地域との連携</p> <p>3 教育ボランティア等の協力</p>	<p>1 教育環境の整備</p> <p>2 道徳教育の充実</p> <p>3 読書活動の推進</p> <p>4 特別活動の精選と内容の充実</p>	<p>1 基礎的基本的内容の確実な定着</p> <p>2 算数科指導を通し、授業の改善</p> <p>3 現職教育の充実</p>
取組の状況に対する意見	<p>・年齢が高いと、HPを見る機会は少ない。回覧板の情報が主になる。</p> <p>・学生ボランティアはじめ、たくさんの方が子供と接することは意義がある。</p>	<p>・学級の読書環境はどうか。すぐ手に取れる環境が読書につながる。</p> <p>・遠足の目的意識を再確認することが大事である。</p>	<p>・個のニーズに応じる指導は、大切である。その一方で、それが受け身の学習になっていなかと検討することがいる。</p>
検証結果に対する意見 取組の適切さの	<p>・月遅れにならないよう努力しているのを感じる。毎月の学校便りを楽しみにしている。</p> <p>・農業以外にも、歴史や工業の盛んな地域でもある。地域学習をより広げることで、地域への愛着も深まる。</p>	<p>・環境整備の一つに、施設設備の配置がある。名草小学校は、校舎を出たすぐのところに鉄棒があり、子供がまわりたくなる環境になっている。子供は遊びで育つところが大きいので、この環境は良い。</p>	<p>・子供自身が、やる気をもって学習に臨もうとすることが重要である。</p>
改善方法に向けての 次年度に対する意見	<p>・学校内だけでなく、地域で学習する機会を増やすことが、地域との連携につながっていくのではないかと。</p> <p>・学習活動に協力してくれるメリヤス工場は、いくつもある。まず、訪問して話をすれば見学ができるところも見つかる。</p>	<p>・教室の蔵書を増やし、すぐに本を手に取れる環境が読書につながりやすいのではないかと。</p> <p>・栽培活動については、育てるだけでなく、育てたものを使う方法など広がりのある学習につなげるといい。地域にも目を向け土地を借りて育てることも考えられる。</p>	<p>・目標となるものを示すなど、子供が、自分なりのやる気もてるよう仕組むことも必要である。</p>

## 3 その他のご意見

<p>・学校で学んだことを、家庭や友達の家で使うことで学習が生きる。学びを地域や家庭で生かすことにより、人に喜んでもらう経験が増える。こうした体験を豊かにすることが、心を育てる。</p> <p>・学校は、「同じ年齢の子供が集まって、何かをし合うことができる場所」である。少子化が進む社会で、こうした体験ができる貴重な場が学校である。</p> <p>・子供の学習の場として、地域へ積極的に出ていくことで、個々の教師と地域との結びつきも強くなる。地域としても、学校に協力できることがたくさんある。</p>
--